

第1回 JSAP-THz 研・IEICE-THz 研合同研究会開催案内

(第4回 JSAP テラヘルツ電磁波技術研究会, 第8回 IEICE テラヘルツ応用システム研究会)

【世話人代表 / 委員長】 平川一彦 (JSAP-THz 研究会, 東京大学生産技術研究所)
尾辻泰一 (IEICE-THz 研究会, 東北大学電気通信研究所)

【期日】 研究会: 2007年7月5日(木)~6日(金)、施設見学会: 7日(土)

【会場】 情報通信研究機構 沖縄亜熱帯計測技術センター (〒904-0411 沖縄県国頭郡恩納村字恩納 4484)

独立行政法人 情報通信研究機構
沖縄亜熱帯計測技術センター



詳細は、沖縄亜熱帯計測技術センター (<http://www2.nict.go.jp/y/y222/okinawa/>) でご確認ください。

【テーマ】 計測システム、分光技術、光源技術、検出器技術、大気伝搬、及び、テラヘルツ技術一般

【参加費】 一般 3,000円 学生 1,000円

5日(木)の研究会終了後に懇親会を開催いたしますので是非ご参加下さい(参加費別途)。

【研究発表申し込み】 2007年5月31日(木)までに講演タイトル、著者、所属、連絡先などを下記幹事まで電子メールにてご連絡ください。2007年6月8日(金)まで研究会幹事にてプログラムを決め採否のご連絡をいたします。申し込み数次第によって口頭発表、ポスター発表などの振り分けを幹事にて行わせていただく場合がありますことご承知ください。その後、2007年6月22日(金)までに指定様式の講演資料電子ファイルを下記幹事までお送りいただくこととなります。

【参加申し込み】 事前申し込みは不要ですが、準備の関係上 2007年6月22日(金)までに出来るだけ下記の担当者までご連絡ください。当日参加も受け付けます。

【参加資格】 特になし

【研究会趣旨】

近年、急速に発展してきた光技術や電子デバイス技術によって、テラヘルツ帯(100GHz~10THz)の利用が進みつつあり、情報通信、セキュリティ、各種分光センシングといった領域での活用例が示され、産業化への期待が高まっています。今回はテラヘルツ技術分野の幅広い交流を図るため応用物理学会(JSAP)テラヘルツ電磁波技術研究会と電子情報通信学会(IEICE)テラヘルツ応用システム研究会が合同で研究会を開催することになりました。研究会では、海外から著名な研究者(テラヘルツ分光技術: Prof. Charles Schmuttenmaer (Yale)、以下(案): メタマテリアル: Dr. Richard Averitt (Los Alamos)、大気伝搬: Dr. Peter de Maagt (ESA)、地球環境計測/THz-QCLをLOに使ったシステム: Dr. Jian-Rong Gao (SRON))をお招きし海外の研究動向やご自身の最新の成果に関する講演を行っていただく予定です。さらに、日本国内からも多数の講演を募集いたします。これによって、テラヘルツ技術分野の幅広い交流の端緒を作り、この分野の一層の活性化を進めたいとして企画いたしました。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

【プログラム案】

2007年7月5日(木)13:00～17:00 招待講演(英語)、一般講演(英語)

2007年7月6日(金)9:00～12:00、13:00～16:00 一般講演(日本語)

2007年7月7日(土)10:30～12:00 施設見学会

【参加申し込み・問い合わせ先】下記、いずれかの担当者までお願いいたします。

応用物理学会テラヘルツ電磁波技術研究会・担当者 南出泰亜(理化学研究所)

TEL: 022-228-2162、FAX: 022-228-2050、E-mail: minamide@riken.jp

電子情報通信学会テラヘルツ応用システム研究会・担当者 関根徳彦(情報通信研究機構)

TEL: 042-327-5848、FAX: 042-327-6941、E-mail: nsekine@nict.go.jp

最新の情報は、応用物理学会テラヘルツ電磁波技術研究会 <http://annex.jsap.or.jp/terahertz/THzTop.htm> およびテラヘルツ応用システム研究会ホームページ <http://www.ieice.org/es/thz/>にて提供しております。

【共催】応用物理学会テラヘルツ電磁波技術研究会、電子情報通信学会テラヘルツ応用システム時限研究専門委員会、情報通信研究機構

【協賛】日本学術会議 URSI-C 委員会、URSI 分科会 D 小委員会、テラヘルツテクノロジーフォーラム